

かわうら

◆会長あいさつ◆

平成 29 年度、河浦まちづくり協議会会長の中村です。河浦まちづくり協議会では、

エンジニアミニバレー大会や地区対抗総合球技大会などのスポーツ事業の他に、まちづくりチャレンジ事業として平成 27 年度から「河浦まちづくり計画 5 策」を行って 3 年目となります。今年度は、歴史文化探索マップの活用、薬草講演会、しめ縄づくり講習会、漬物コンテストや、狩猟女子講演会などの活動に力を注ぎました。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の 7 月の登録の機運は高まっており、河中生徒の崎津ボランティアガイドも好評です。皆さんの力を集結し更なる河浦の発展を祈念申し上げます。今年の活動を掲載しましたので、ご一読ください。

河浦まちづくり協議会長 中村美生



たくさんの方々から「ふるさと応援寄附金」をいただきました

「天草市ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）」は、天草の特産品の他に今年度より友好交流町の北海道浦河町の特産品も新たに選べるようになりました。

今年度も「河浦まちづくり協議会」へ平成 30 年 3 月までに、石田智也様（東京都）、野口昌彦様（東京都）、大土井律之様（広島県）、池田稔様（熊本県）、磯崎丈夫様（東京都）、牧野充洋様（静岡県）、三宅信太郎様（大阪府）、上田泰裕様（埼玉県）、平野悠之介様（大阪府）、濱口正道様（熊本県）、米谷友光様（北海道）、匿名 9 名の計 **20 名の方から 62 万円**の寄附を頂いています。ありがとうございます。

お礼品として、天草のお刺身セット、天草大王タタキ、天草エアライン航空券、車海老、崎津の干し物、天草豚肉、黒毛和牛肉セット、オリブオイル、ポンカン、デコボン、パール柑などを送りました。寄附金は、崎津世界遺産 P.R のポロシャツや河浦歴史文化のまちづくり活動等に有効利用していきます。

河浦まちづくり協議会 事務局

天草市河浦町河浦
5253 天草市河浦支
所まちづくり推進課
まちづくり係内
TEL 76-1111
有線 6811

「天草の崎津集落」の世界遺産登録を応援する寄附がありました

5 月 2 日に「天草チャリティゴルフ大会実行委員会」委員長池田正三郎様より 8 万 9 千円、本渡ロータリークラブ、天草本渡ライオンズクラブ、天草中央ロータリークラブ、天草本渡青年会議所の「4 クラブチャリティゴルフ大会実行委員会」より 8 万円の合計 16 万 9 千円の寄附がありました。

当初、購入価格の半額補助で 170 着のポロシャツを作成して世界遺産登録の機運を高める予定でしたが、たいへん好評で 400 着の注文があったことから、ふるさと応援寄附金も活用し希望した住民全てに行き渡るようにしました。ありがとうございます。



第 23 回「かわうちエンジニアミニバレーボール大会」が開催されました！



市民の健康づくりと親睦のため、「第 23 回かわうちエンジニアミニバレーボール大会」が開催され、河浦町内の区対抗戦でおこなわれ、43 チームが和気あいあいと熱戦を繰り広げました。

期日：平成 29 年 6 月 23 日（日）8 時半開会
会場：河浦中央体育館

【結果】

○男子フリーの部

優勝：上津留区、2 位：中村区、3 位：宮野河内、白木河内区

○男子 40 歳以上の部

優勝：白木河内区、2 位：久留区

○女子フリーの部

優勝：葛河内区、2 位：白木河内区、3 位：下田区

○50 歳以上混合の部

優勝：小島・船津区、2 位：下田区、3 位：葛河内区、平野区

平成29年度「地区対抗総合球技大会」が開催されました

9月24日、河浦まちづくり協議会主催の「地区対抗総合球技大会」が河浦総合運動場を主会場に行われました。

住民の親睦を深めることを目的に毎年開催され、地区住民約500人が参加しました。

競技は町内5地区対抗で野球やゲートボール、今年から小学生のアジヤタを追加し全12種目で競われました。

総合優勝を目指し各種目が熱戦を展開。その結果、上一町田地区が総合優勝しました。



河浦まち協の「第1回5策ワークショップ」を開催しました

9月8日、河浦支所で、「河浦まちづくり協議会」の5策ワークショップを開催しました。①歴史文化のまちづくり、②地域資源を活かすまちづくり、③魅力発信のまちづくり、④福祉のまちづくり、⑤暮らしやすいまちづくりの5つの部門に分かれ意見を話し合い、班別に発表をしました。



WSと「天草地域雇用創出協議会」との全体会が開催されました

1月29日13時～15時半まで河浦支所で、河浦まちづくり協議会の第2回5策ワークショップ及び天草地域雇用創出協議会との全体会が開催され約40名の参加がありました。河浦高校の跡地利用や振興施策を県と協働で行っていく事が話し合われました。ワークショップでは今年度の反省と来年度に向けての計画を班に分かれて話し合い、班別の発表を行いました。

新上五島視察研修を行いました

8月25日(金)から27日(日)まで、河浦まちづくり協議会委員等14名で、同じ世界遺産を目指す長崎県の新上五島町を視察研修に行ってきました。2年に1回実施している協議会役員の視察研修は、世界遺産登録への地域の機運と、崎津長崎間の航路就航促進のため、本庁の政策推進事業費を活用し、新上五島町と天草市の地域間交流を深める目的で実施されました。

25日14時に崎津港より高速船ビッグアース号で出航し長崎市で前泊。26日8時同船で出航し新上五島町の鯛ノ浦港に到着。

港で新上五島町観光商工課の安永課長と文化財課の高橋係長が横断幕で出迎えて頂き、レンタカーに分乗し各施設を案内して頂きました。

最初に訪問した旧鯛ノ浦教会は、戦後増築の際に被爆レンガを使用した教会として知られています。岩をくりぬいた所にマリア像があり祈りの広場がありました。その後、「崎浦の五島石集落景観」を視察。海岸に露出する砂岩質の「五島石」は幕末から近代にかけて採掘され、平戸や長崎市の石畳に使われています。その五島石を外壁に用いた「頭ヶ島天主堂」は、重厚な雰囲気でした。ここでは、住民が静かな暮らしができるよう「パークアンドライド」という休止の空港にいったん車を置いて電気自動車に乗りかえて教会に向かう事を試行しておられました。午後から「鉄川与助生誕地」を視察。旧家屋は老朽化で解体されモニュメント広場になっていました。

「青砂ヶ浦天主堂」、「大曾教会」、「得雄寺」(浄土真宗本願寺派)なども視察。見る全ての教会とこの寺も鉄川与助の設計施工でした。

今回の研修で、整然とした町並み、おもてなしの心、地域の住民が困らぬようなルールづくりなど、参考になることがたくさんありました。同じ世界遺産を目指す地域として、さらに交流を深め、情報発信をすることが重要を感じました。



「しめ縄づくり講習会」を開催

11月20日に一町田コミセン前の広場で、「河浦まちづくり協議会の④福祉のまちづくり」の計画の中の「しめ縄づくり講習会」が開催され、約20名の参加がありました。



河浦文化祭と共催で「狩猟女子講演会」が開催されました

11月25日、26日（土日）に「河浦町文化祭（主催：天草市芸術文化協会・河浦地区文化協会）が開催され、共催で「狩猟女子講演会」（主催：河浦まちづくり協議会）を26日（15時～17時）に一町田コミセンで開催し、文化祭・講演会の通算で約250名（町内200名、町外50名）の参加がありました。

演題は「食べ物から、自分の暮らしを見つめなおす。福岡・糸島で狩猟に挑戦。」で、3.11をきっかけに、大量生産大量消費の暮らしに危機感を感じ、自分の暮らしを自分で作るべく活動中。2011年から動物の解体を学び、今は鳥を絞めて食べるワークショップを開催していて、2013年狩猟免許取得。罾による狩りを始められ、獲物の皮なめしや「イノシシ皮のアクセサリー作成」なども修行する傍ら現在は福岡県糸島市にて、食べもの、エネルギー、仕事を自分たちで作る「いとしまシェアハウス」も運営しておられ、たいへん参考になりました。



「かわうら南蛮文化コース」まち歩きモニターツアーが開催されました

12月9日、13時～16時まで河浦まちづくり協議会の①歴史文化のまちづくり部会主催で、「かわうら南蛮文化コース」のまち歩きモニターツアーが実施され、韓国や中国の出身者を含む約30人が、約2.5kmのコースを歩きました。

天草コレジオ館で河浦の南蛮文化についての説明を受けたあと、川崎富人市文化財保護審議会会長の案内で、キリスト教宣教師ルイス・アルメイダの上陸地点の下田の丸山や、河内浦城跡、崇円寺、安養寺、信福寺などを巡りました。



北海道浦河町から小中学生含む13名の訪問がありました

1月10日、13日まで、天草市（河浦町）と友好交流町を締結している、北海道浦河町より小中学生を含む13名の訪問がありました。

ちょうど大雪の天候に重なってしまい、10日の天草空港到着も1時間以上遅れ最終便は欠航してしまい、さらに予定では11



日はミカン狩り、小中学校訪問、コレジオ館、12日は立原神社参拝、崎津教会見学、高浜焼アズレージョ作製体験、イルカウォッチング（悪天候で体験できず）、13日は熊本城見学の予定でしたが、小中学校は大雪で休校となってしまいました。

よって、移動はチーエンを付けた車での移動となり、日程は、11日の午前はコレジオ館見学、午後は崎津教会見学のと高浜焼体験、夜の愛夢里では、以前浦河を訪問した河浦の小中学生2名のみが会いに来た以外は小中学生とは会えませんでした。

12日も雪の中での立原神社参拝後、教職員しかいない小中学校の訪問となりましたが、午後からは急遽お願いした宮野河内の加温ハウスでのデコポン収穫を楽しんだあと、熊本市内へ移動しました。

熊本は雪も積もっておらず13日は復興中の熊本城を見学後、熊本空港から帰路につかれました。タイミング悪く大雪の天草を体験された浦河町の訪問団の皆さん、今度は天気の良い天草をぜひ、見に来てください。

「自主防災講演会」が開催されました

1月19日19時半より一町田コミセンで、熊本県庁危機管理防災課より青山幸久さんを講師に「自主防災講演会」が開催され約70名の参加がありました。(河浦自主防災会主催、河浦まちづくり協議会、河浦支所共催)。講演では「防災・減災クローズドゲーム」という、災害が発生した場合にすぐに避難するか？しばらく様子を見るか？を、「イエス」か「ノー」を全員で考えるワークシヨップも開催され、水害、台風、火災など様々な災害が発生した際に、地域の住民が自主的に避難などを行う事の重要性を学びました。

地域おこし協力隊の伊藤徳彦さんが河浦支所に就任されました

2月1日、地域おこし協力隊の伊藤徳彦さんが河浦支所に就任され、中村市長より辞令の交付がありました。伊藤さんには海外留学の経験や

多様な経歴・職歴を活かし、情報発信を海外へも行っていただき、天草市や河浦の観光振興や河浦のまちづくりに活かして頂きたいと思います。



富津ラボ研究発表会「崎津・今富の未来を語る」が開催されました

2月24日富津ラボ研究発表会「崎津・今富の未来を語る」(熊本 田中尚人准教授主催)が開催されました。

第1部 崎津・今富フットパス体験会では、崎津コースと今富コースの2コースに分かれ、散策しながら地域の方々との交流を楽しみました。みんなでランチ後、富津コミュニティセンターにて第2部の「富津ラボ研究発表会」が行われました。

新上五島町の地域おこし協力隊、瀬戸美咲さんの基調講演「私と、地域おこしと、移動力フエ」のあと、「崎津・今富の未来を語る」と題してパネルディスカッションが行われました。

発表会終了時に崎津のボランティアガイドをしている河浦中学校の生徒4名が実際のガイドをしたあと到着、地域を紹介する純粋な気持ちをひとつりずつ話し、和やかなひとときとなりました。



天草市主催「天草・崎津春まつり」が開催されました

3月4日10時〜15時まで崎津漁協で「あまくさ崎津春祭り」が開催されました。■主催…天草市(世界遺産推進室)

■後援…熊本県、長崎県、南島原市
■協力…天草漁業協同組合崎津支所

富津地区振興会主催の健康づくり歩こう大会も同時開催され、177人が4.5kmのコースを歩きました。河浦まちづくり協議会の会員も一緒に歩きましたが昨夜の雨が嘘のように天気も良く、素晴らしいウオーキング日和でした。

イベントでは、地元の崎津保育園の発表会、河浦中学生吹奏楽部の演奏、崎津ハイヤの踊りのほか、「やうちづらザーズ」のお笑いステージ、「アダチ宣社」のチンドン屋、「M&S」のゴスペル隊、「ばってん城次」の肥後にわかコントのほか、崎津カレーや各種の出店の出店で約1,000人の参加があり、大変賑わいました。

最後は、世界遺産登録を目指しての「風船リリース」があり、大空に参加者全員の夢が舞い上がって行きました。



河浦まちづくり協議会主催「薬草講演会」が開催されました

河浦まちづくり協議会主催「薬草講演会」が、3月3日(土)午後1時から3時半まで一町田コミセンで開催され40名の参加がありました。

小岱山薬草の会(玉名市)会長の宮永マズ子さんと会員の坂本正詮さんを講師に、パワーポイントで薬効と料理方法の説明がありました。

講演会終了後、薬草料理教室が開催され、滋養強壮に効果のある「ノビル」のチジミと健胃・整腸・強壮作用がある「タンポポのベーコン巻」を全員で調理しました。

参加者からは「知らない薬草が知れて、料理にも使っていきたいと思う。」「もっと薬草の研修の機会を増やして欲しい。」との感想もありました。



編集後記

思ったより早い桜の季節の訪れにあわただしく編集に追われる編集室です。本年もどうぞよろしく願いいたします。